

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス アクキュライズⅢ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.508	△RG 0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：アクキュライズⅢ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：アクキュライズⅡ

フレアーの幅 インチ

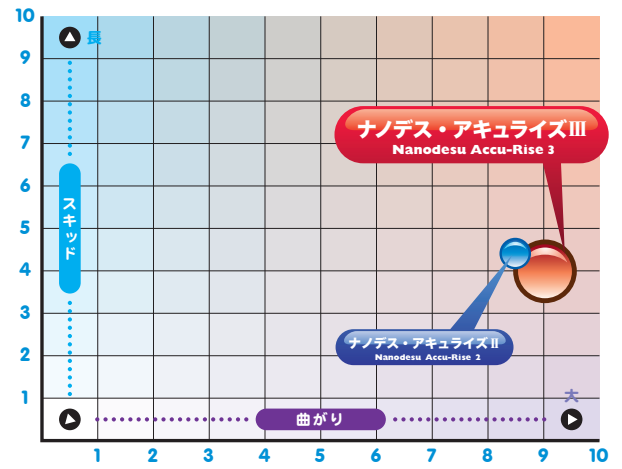
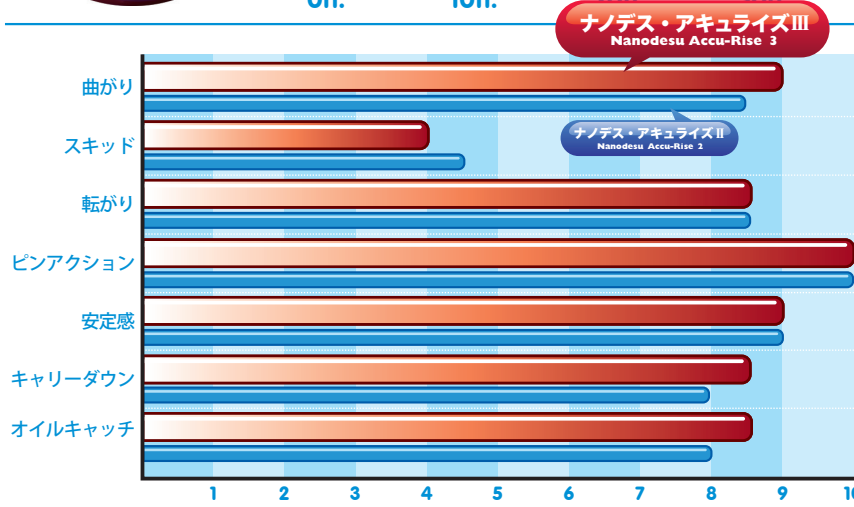
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レングス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

Nanodesu Tour-Premiumの過去例を見ない異様と思えるロングラン発売はNanodesu史上最も長く、残すところ2か月で1年にわたる販売実績になります。新素材Nano-ThaneカバーストックはNanodesu Tour-Premiumから劇的なスタートを切り、ACCU-RISE、ACCU-ROAD共に今尚ニーズは止みません。

今回発売するACCU-RISE3はNano-Thaneカバーストック未発表のLevel4をパワーユニットに、オイルゾーンの特にミッドエリアで着実なブレーキングを武器として、Nanodesuシリーズに新たな息吹を加えられる性能で発売されます。このACCU-RISE3の特筆すべき点は、何といてもLevel4に引き上げられたNano-Thane 4.0カバーストックでしょう。Nanodesu Tour-Premium、ACCU-RISEのLevel2からACCU-RISE2のLevel3、そしてさらに進化させたLevel4はLevel2よりもスキッドエリアでのキャッチを強め、よりオイリーなコンディションで使用できるよう仕上げてあります。カバーストックを強めたことでしっかりとバックエンドでネジれさせるコアの強さが必要になります。

今回は数多くのテストサンプルの中からベストであるModified DMI 2 disc Double Weight Block Core with magnetコアを採用致しました。Level4とDMI 2 Disc Coreの組み合わせは現状Nano-Thane史上一番オイルに強い性能を持ち、このACCU-RISE3からNanodesu Tour-Premiumへのボールチェンジを可能にすることで、さらにNanodesuブランドはトーナメントのみならず、フランチャイズのコンディションにおいてもNanodesuシリーズで完結できることを意図して開発が進められています。今ではNanodesuシリーズが数多くボールラックに乗り、ACCU-Spareまで見かけると至福の時を感じます。日本製品の良いところは納得するまで作りなおす職人気質にあります。みなさんもぜひジャパンメイドをお試しください。

特記事項

新開発Nano-Thane4.0のナノデスがついにリリース。
オイル上でのブレーキングと、しっかりと奥でネジれる性能を是非その手でお試しください。